

# 入学試験問題



## 地理歴史

(配点 120 点)

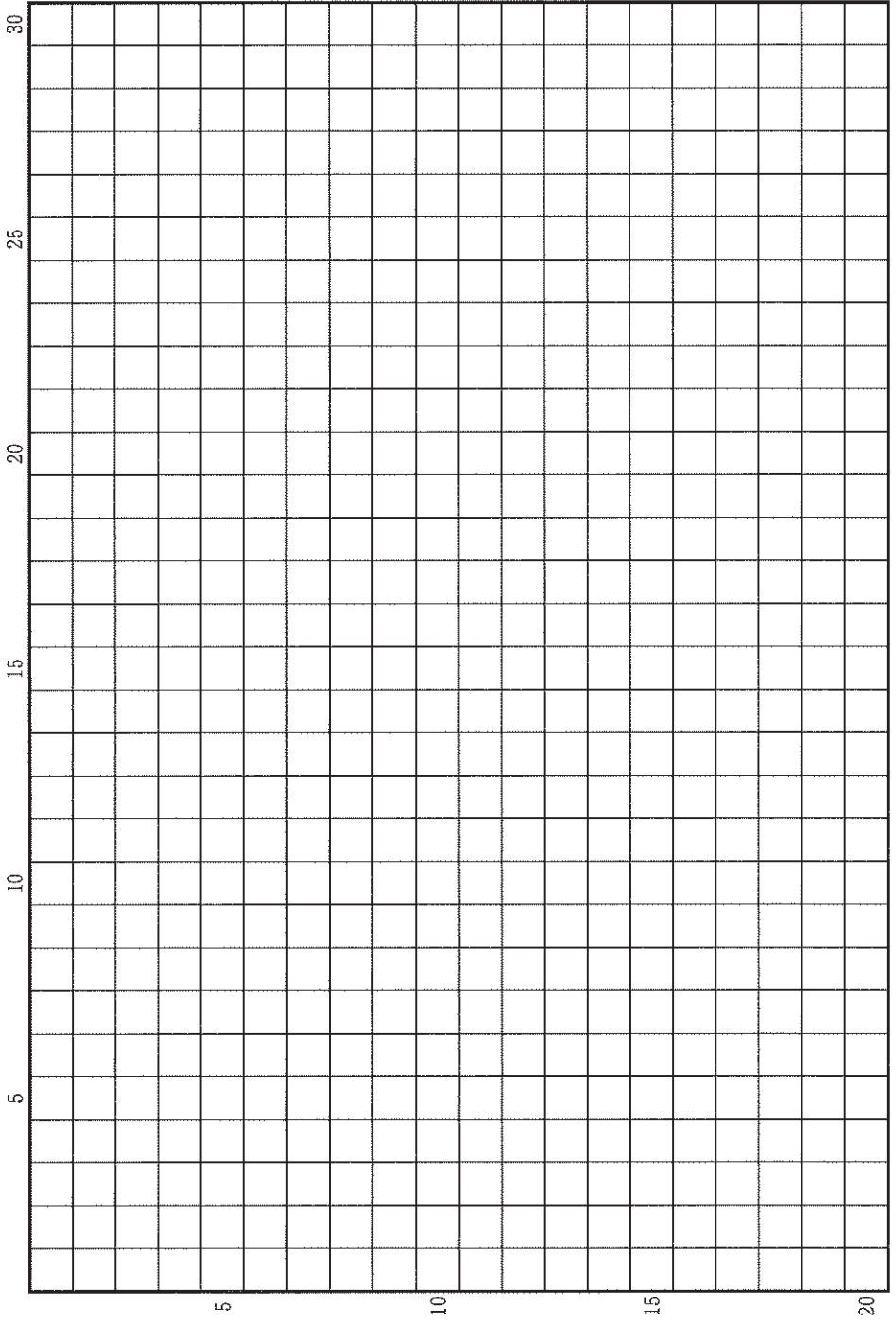
令和 6 年 2 月 26 日 9 時 30 分—12 時

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で 43 ページあります(本文は日本史 4 問 4～15 ページ, 世界史 3 問 16～27 ページ, 地理 3 問 28～43 ページ)。  
落丁, 乱丁または印刷不鮮明の箇所があったら, 手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 日本史, 世界史, 地理のうちから, あらかじめ届け出た 2 科目について解答しなさい。
- 4 解答には, 必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用しなさい。
- 5 解答は, 1 科目につき 1 枚の解答用紙を使用しなさい。
- 6 解答用紙の指定欄に, 受験番号(表面 2 箇所, 裏面 1 箇所), 科類, 氏名を記入しなさい。指定欄以外にこれらを記入してはいけません。
- 7 解答は, 必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 8 解答用紙表面上方の指定された( )内に, その用紙で解答する科目名を記入しなさい。
- 9 解答用紙表面の上部にある切り取り欄のうち, その用紙で解答する科目の分のみ 1 箇所をミシン目に沿って正しく切り取りなさい。
- 10 解答用紙の解答欄に, 関係のない文字, 記号, 符号などを記入してはいけません。また, 解答用紙の欄外の余白には, 何も書いてはいけません。
- 11 この問題冊子の余白は, 草稿用に使用してもよいが, どのページも切り離してはいけません。
- 12 解答用紙は, 持ち帰ってはいけません。
- 13 試験終了後, 問題冊子は持ち帰りなさい。



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



# 日 本 史

## 第 1 問

次の(1)~(5)の文章を読んで、下記の設問 A・B に答えよ。解答は、解答用紙(イ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入せよ。

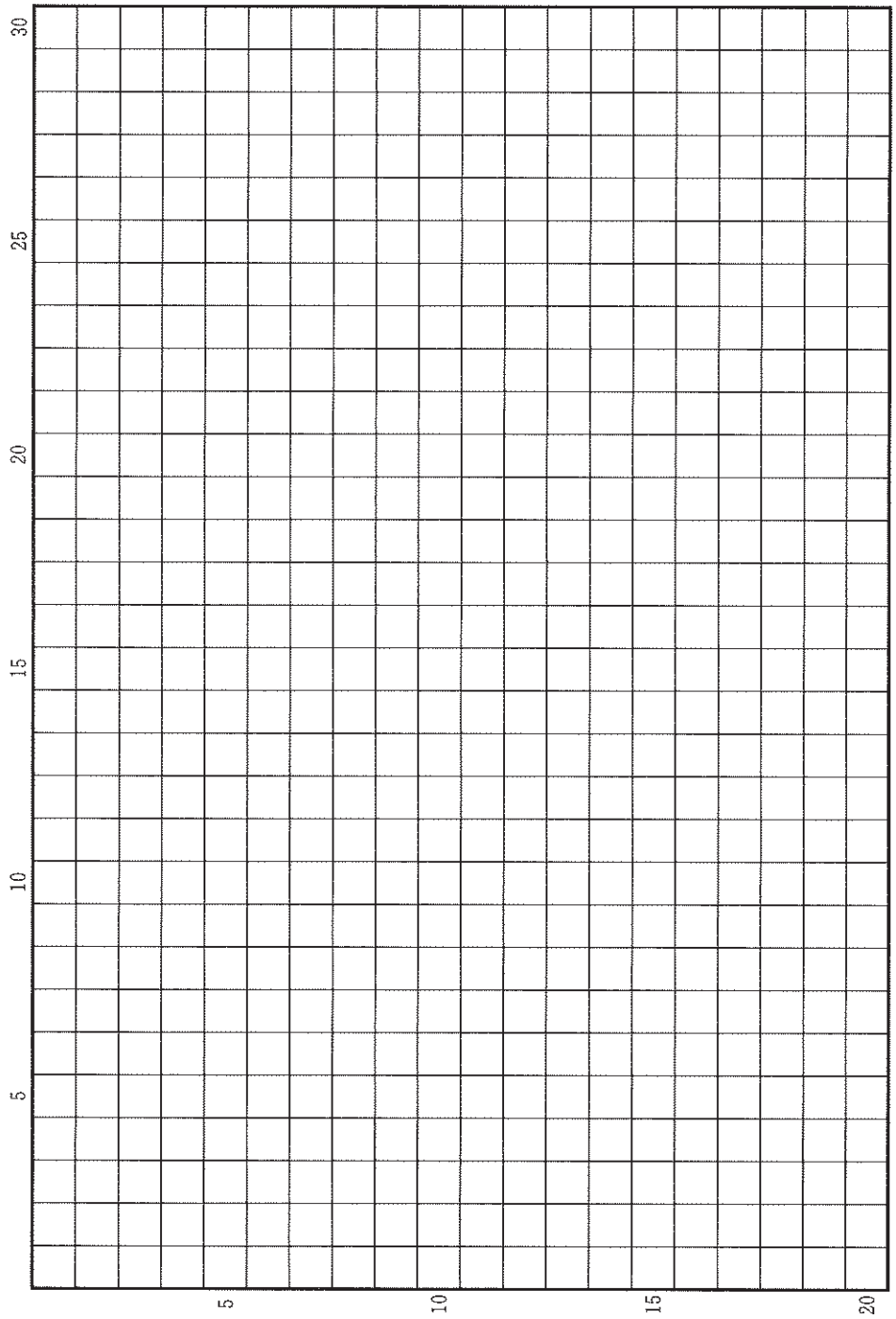
- (1) 大宝令によって、朝廷の位階や官職の仕組みが整えられたが、この仕組みは、要職を占める五位以上の官人が特権的な待遇を受けるものであった。彼らの多くは、古くから天皇に奉仕してきた畿内の有力氏族であった。
- (2) 孝謙天皇は、758年に淳仁天皇に譲位したが、しばらくして淳仁天皇と対立すると、国家の大事は孝謙太上天皇が自らおこなうことを宣言した。これを不満とする藤原仲麻呂が反乱を起こすと、孝謙太上天皇はこれを鎮め、ついで淳仁天皇を廃して再び天皇となった。
- (3) 平城天皇は、809年に嵯峨天皇に譲位したが、しばらくすると平城京に遷<sup>うつ</sup>って国政への意欲を強めたため、政治的混乱が生じた。嵯峨天皇は、兵を動かして混乱をおさめ、平城太上天皇は自ら出家した。そののち嵯峨天皇は823年に淳和天皇に譲位すると、内裏から離宮に居所を移して隠棲<sup>いんせい</sup>した。
- (4) 平安京に遷都して以降、官司の統廃合が積極的におこなわれたほか、大学の制度を改変して学問を奨励し、優秀な者は家柄によらず中央や地方の要職に採用するなど、令制に定められた官人制度の改革がおこなわれた。
- (5) 嵯峨天皇の弘仁年間(810~823)には、平安宮の諸門の呼び名が中国風に改められた。また中国唐の儀礼を参考に朝廷の儀礼を整え、『内裏式』などの儀式書が編纂された。このとき、天皇に対する拝礼の作法が、日本の古い習俗を起源とするものから中国風のものに改められた。

設 問

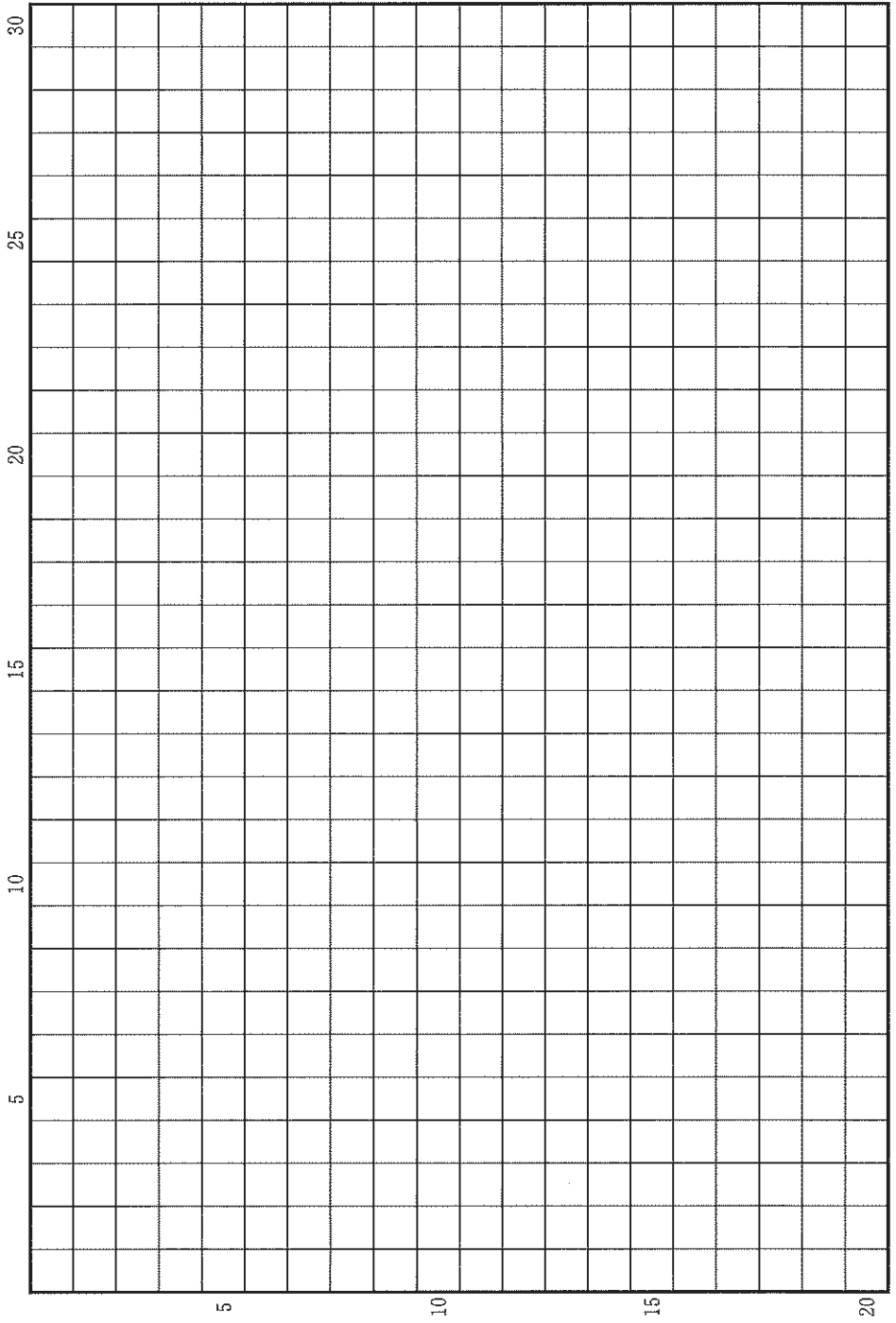
A 9世紀前半に、太上天皇の政治的立場は大きく変化した。それはどのようなものか。2行以内で述べよ。

B 9世紀前半に、天皇と官人との関係は、どのように変化したか。奈良時代までとの違いに留意しつつ、4行以内で述べよ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



## 第 2 問

東大寺の再建に関する次の(1)～(4)の文章を読んで、下記の設問 A・B に答えよ。  
解答は、解答用紙(口)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入せよ。

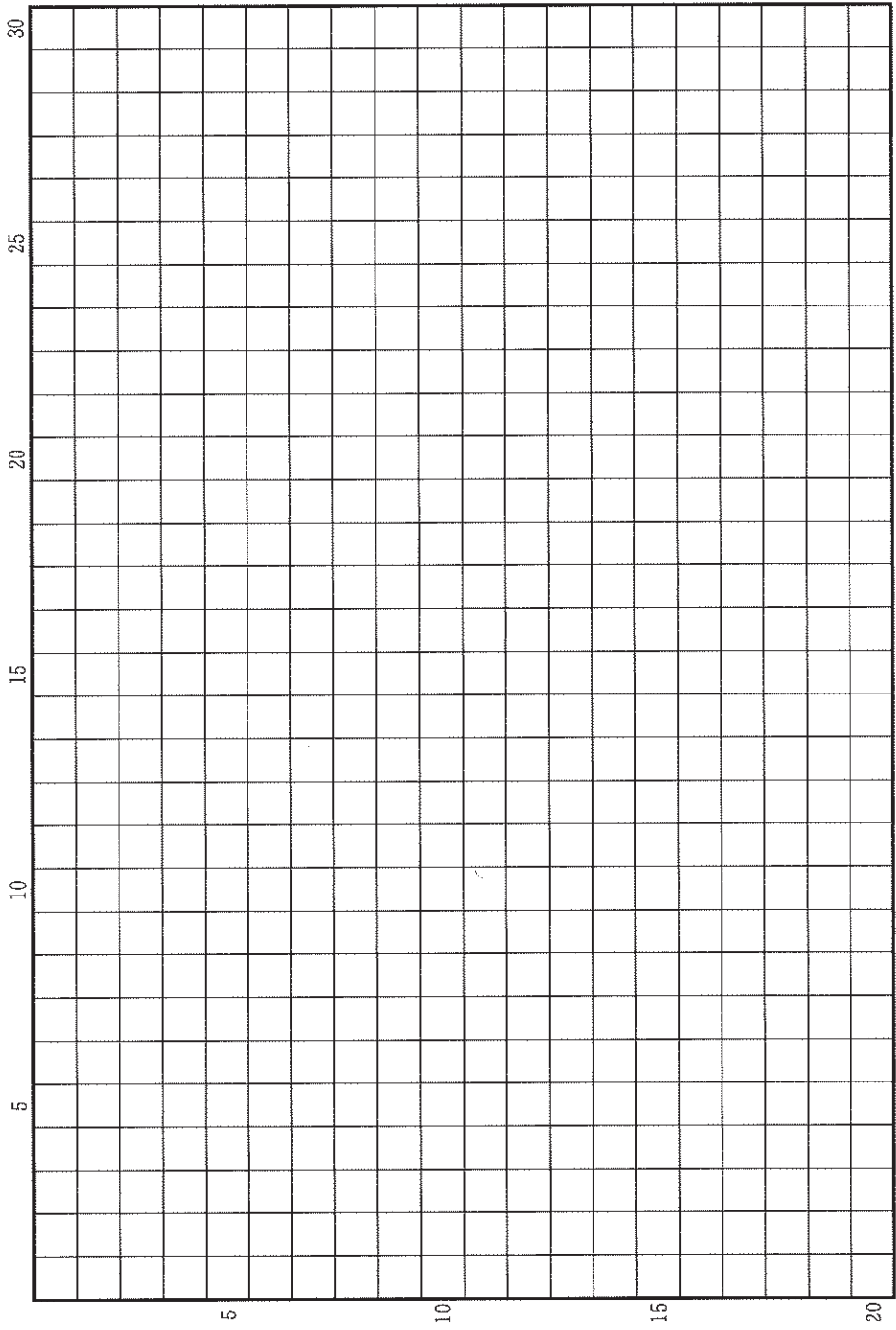
- (1) 朝廷は、1180年に焼失した東大寺の再建を、人々から広く財物の寄付を集めておこなうこととした。その責任者に任じられた重源は、宋に渡った経験もあった。
- (2) 重源は、後白河院から庶民に至る広範な人々に寄付をよびかけた。これを受けて藤原秀衡は奥州産の金の寄付を約束し、源頼朝は米や金、絹など、たびたび多額の寄付をおこなった。
- (3) 大仏の鑄造は当初、技術者不足で難航していたが、重源は、宋から来日していた商人で、技術にも通じていた陳和卿を抜擢し、これを成功させた。また伽藍の造営には大仏様とよばれる建築技法が用いられた。
- (4) 1191年、頼朝は周防国で伐り出された材木を翌年中に東大寺に運搬するよう、西国の地頭に命じた。さらに1194年には、畠山重忠や梶原景時ら有力御家人たちの責任で仏像や伽藍を造営するよう命じた。

### 設 問

- A 東大寺再建に用いられた技術の特徴について、その背景にふれながら、2行以内で説明せよ。
- B 源頼朝は東大寺再建にどのように協力したか。頼朝の権力のあり方に留意しつつ、3行以内で説明せよ。



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



### 第 3 問

次の(1)～(5)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えよ。解答は、解答用紙(ハ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入せよ。

- (1) 1633年、幕府は、長崎へ赴く奉行に命令書を出した。その第1条～第3条は、奉書船以外の海外渡航禁止、日本人の海外渡航禁止、海外在住5年以上の日本人の帰国禁止を規定し、第6条～第16条は、長崎に来るポルトガル船とその貿易に関わる諸規定であった。
- (2) 1634年には、前年と同一内容の命令書が出された。この年から長崎では、貿易に従事するポルトガル人を収容する施設として出島の築造が開始され、1636年、彼らは出島に移された。
- (3) 1635年の命令書は、第1条～第3条で、日本船と日本人の海外渡航禁止、海外在住日本人の帰国禁止を規定した。第6条～第16条は、前年までとほぼ変わりがなかった。1636年の命令書には、長崎の町に残っていたポルトガル人の血縁者を追放する規定が追加されたが、来航ポルトガル船とその貿易に関わる諸規定は前年と変わりがなかった。
- (4) 島原の乱(島原・天草一揆)鎮圧後の1638年から翌1639年にかけて、幕府は、江戸参府中のオランダ商館長に対して、ポルトガル人が日本にもたらしめているような商品を、オランダ人は供給することができるかと複数回尋ねた。
- (5) 1639年、幕府は、長崎に使者を派遣してポルトガル船の日本来航禁止を申し渡すことにした。幕府は、この決定を諸大名にも伝えて警戒を呼びかけた。

設 問

A この間、長崎やポルトガル船に対する幕府の政策は、どのように転換したか。島原の乱の影響を考慮しつつ、3行以内で述べよ。

B (5)において、幕府が、それまでと異なり、政策を広く大名たちに知らせたのは、何のためだったと考えられるか。2行以内で述べよ。

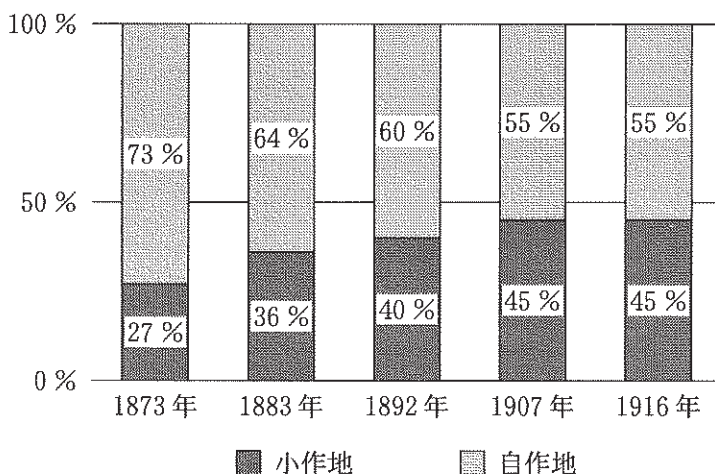
## 第 4 問

近代の土地制度は 1870 年代と 1930～1940 年代とに大きく変化した。1870 年代前半には農地売買が自由化され、農地を担保に借り入れた資金を返せない際に、土地所有権を移転することも容易になった。貸し主にとっては安全に貸せるようになり、借り主にとっては農地を担保として資金を借り入れやすくなった。一方、1930 年代後半から 1940 年代前半には、農地改革に先立ち、地主の権利への規制が強められた。これらに関する以下の資料と図とを読んで、下記の設問 A・B に答えよ。解答は、解答用紙(二)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入せよ。

### 資料 1 1873 年 1 月地所質入書入規則(大意)

- ・ 所有地を担保として金銭を借り入れ、かつ、その所有地を引き続き耕作し、その収益から借入金の利息を貸し主に支払うことを書入かきいれという。
- ・ 書入した土地は借り主が耕作しているのもので、その土地の地租および地方税は借り主が納付する。
- ・ 借入金を返済せずに、書入した土地を借り主から貸し主に引き渡すときには、貸し主が新しい地券の発行を申請し、以後、地租と地方税を納付する。

図 1 小作地と自作地の比率



(古島敏雄編『日本地主制史研究』)

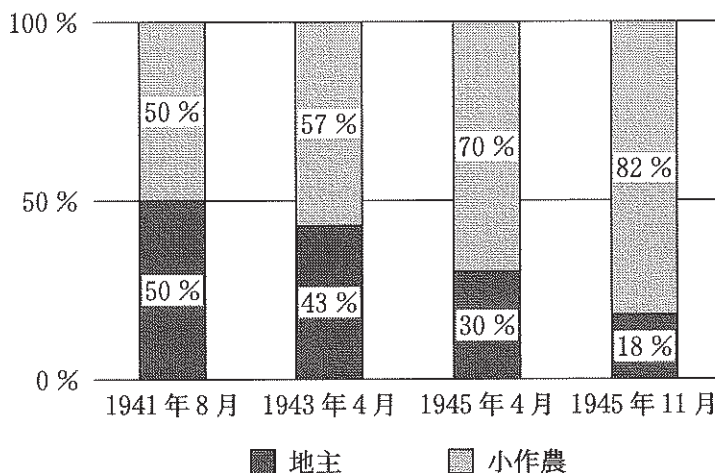
資料2 1938年4月農地調整法(大意)

地主は、事情もなく小作料を滞納するなど小作農側に信義に反する行為がない限り、小作契約を解約したり小作契約の更新を拒否したりすることはできない。

資料3 1941年11月農林次官通牒(大意)

米の政府買上価格<sup>かいあげ</sup>の引き上げや、自作農と小作農への生産奨励金の交付により、米の生産が有利になるため、農業経験の乏しい地主が小作契約を解約して自作しようとするなどの恐れもある。そのような行為は食料増産のためにあってはならず、また農地調整法に照らしても認められないので、特に適切な措置を講じる。

図2 地主と小作農の間の収益配分の変化(米の政府買上価格引き上げと生産奨励金交付の効果、概算)

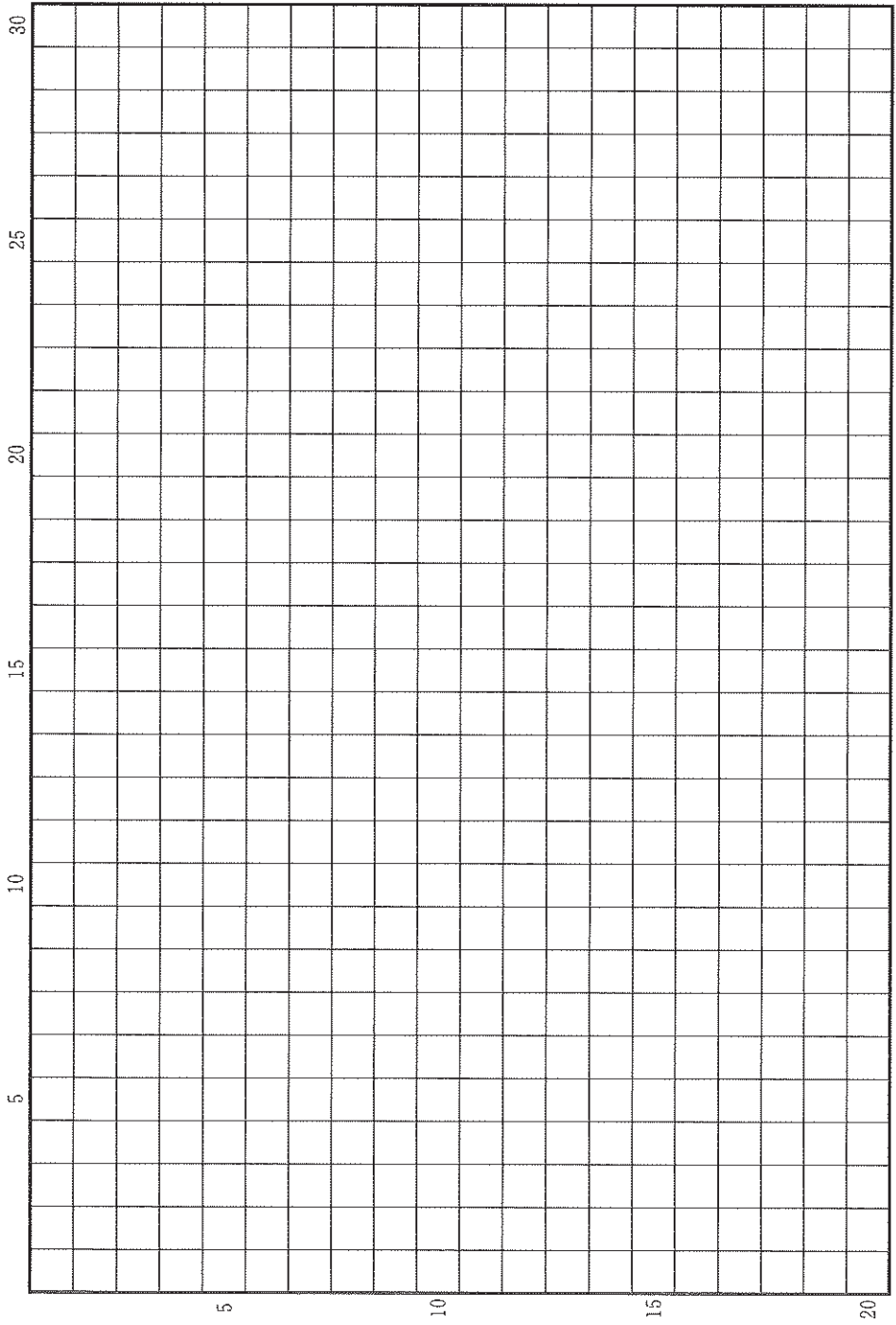


(『岩波講座 日本経済の歴史 5』)

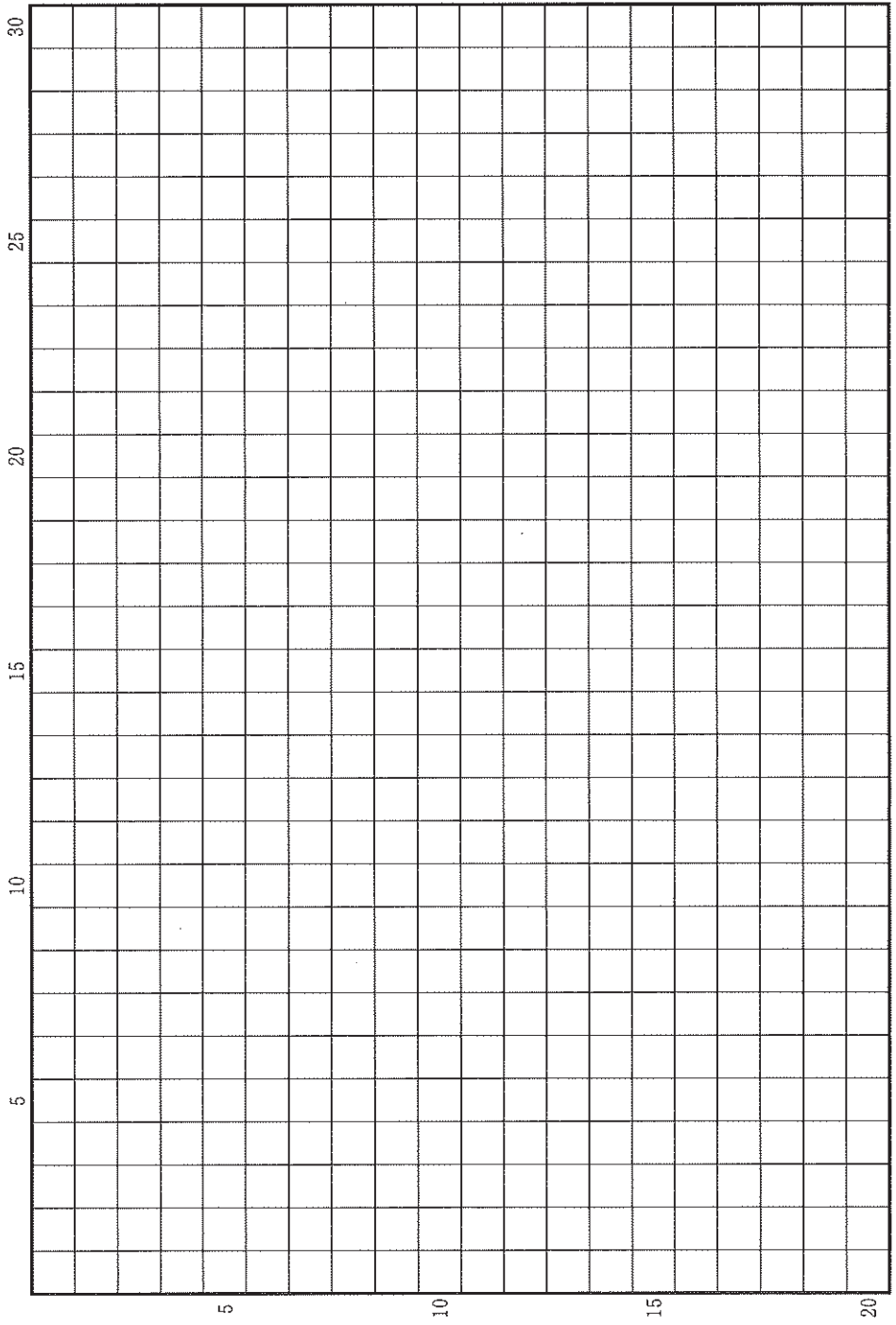
設問

- A 小作地の比率は図1のように変化した。その要因を3行以内で述べよ。
- B 図2に見られる収益配分の変化はどのような政策的意図によってもたらされたか。3行以内で述べよ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



# 世界史

## 第 1 問

次の文章は、1964年3月に国際連合の事務総長ウ・タントが、ある会議でおこなった演説の一部である。これを読んで下記の2つの設問に答えよ。解答は、解答欄(イ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)(2)の番号を付して記せ。

世界では二つの変化が並行して進みつつあり、戦争いらい、重要性を増してきました。一つはおもに政治的な、もう一つはおもに経済的な変化です。(中略)

戦後には、植民地および半植民地とされていた諸民族の政治的解放が、すみやかに進みました。第二次世界大戦後、アジアの諸民族の大半は独立した存在として世界の舞台に登場してきました。1960年代になると、アフリカの台頭がみられました。より最近では、ラテンアメリカ諸国のなかで、重要な変化にはずみがついているようです。(中略)

すでに言及した政治動向は世界の広範な部分でみられるでしょう。国際連合では発展途上地域と普通よばれているところです。しかし、これらの地域は実際には発展していないか、あるいは十分な速さでは発展していません。程度はさまざまですが、深刻かつ持続的な低開発の状態に苦しんでいます。これらの地域は、工業化された社会に比べて、ますます遅れをとっています。それだけでなく、とくに人口増加を考慮に入れば、生活水準が絶対的に悪化している場合もあります。ここから現代のジレンマをみてとることができます。政治的な解放が得られても、それにともなって、期待どおりの経済的な進歩が生じるわけではないのです。

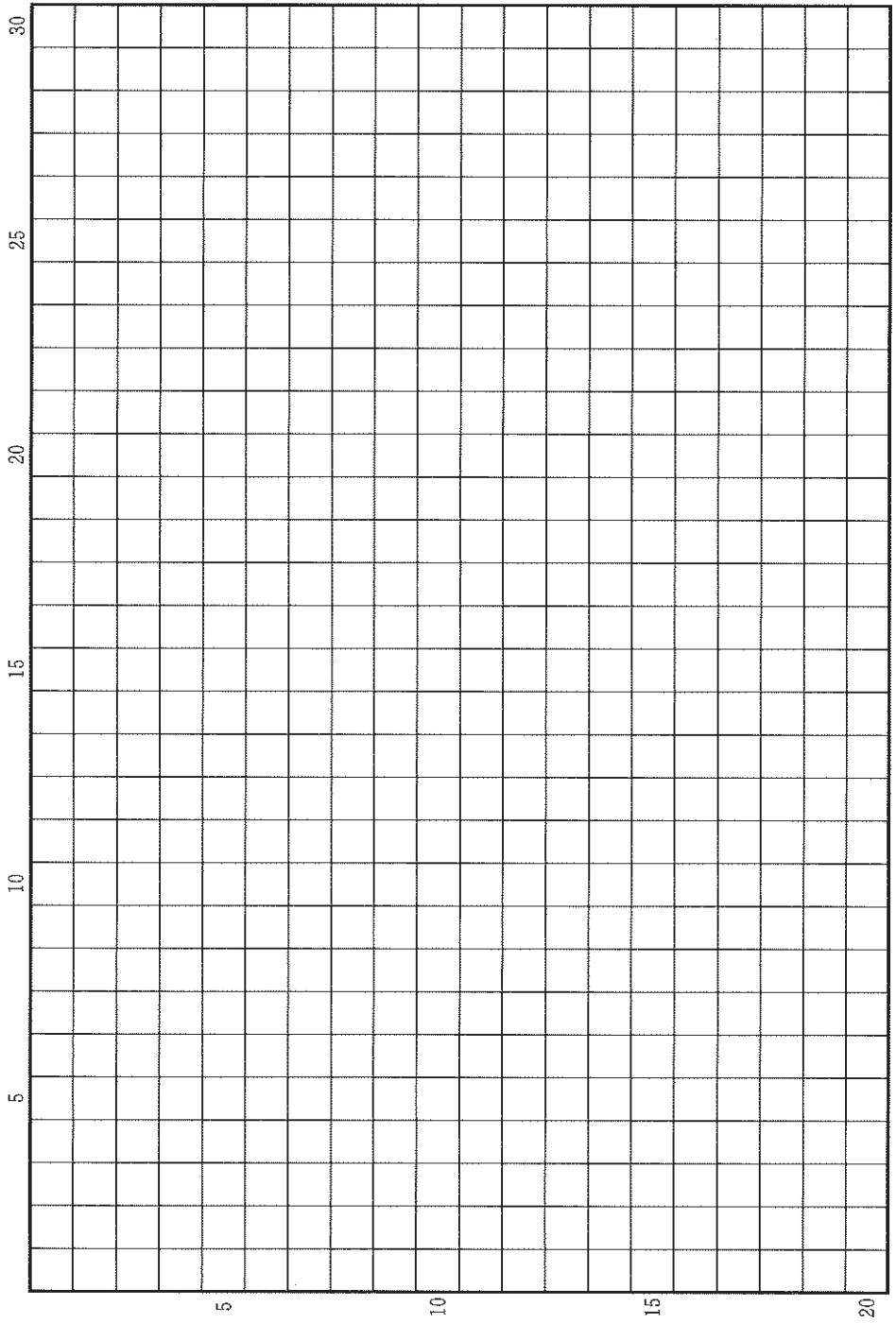


問(1) 演説で述べられているように、諸民族の政治的解放が進んだが、独立を得る過程では戦乱が起こっただけでなく、独立した国どうしが対立を深めるなど、道のりが容易ではない場合も多かった。1960年代のアジアとアフリカにおける、このような戦乱や対立について、12行以内で記述せよ。その際、以下の4つの語句を必ず一度は用い、その語句に下線を付すこと。

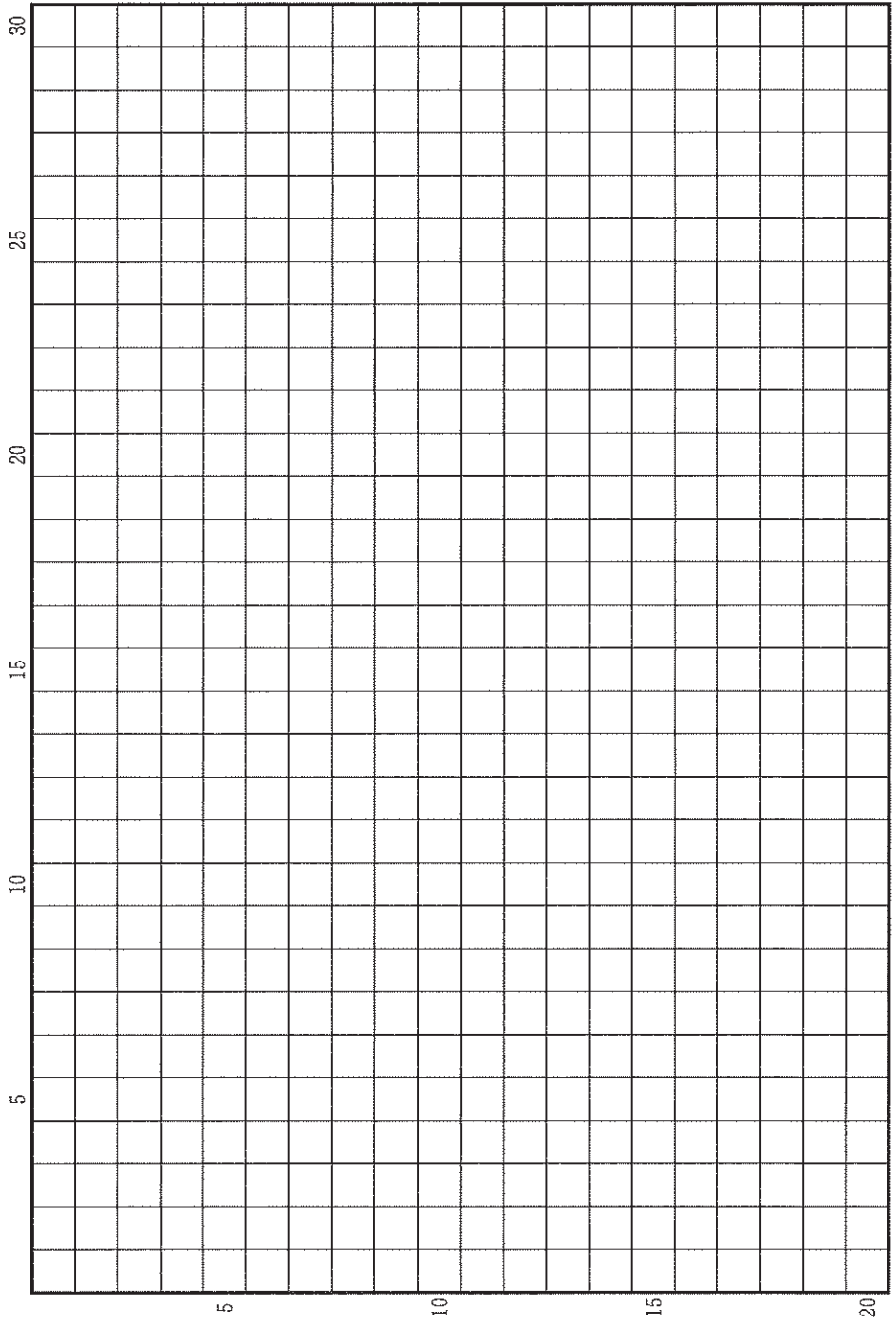
アルジェリア      コンゴ      パキスタン      南ベトナム解放民族戦線

問(2) 演説で述べられている経済的な問題は、どのような歴史的背景をもち、その解決のため1960年代に国際連合はいかなる取り組みをおこなったのかについて、5行以内で記述せよ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



## 第 2 問

ある書物が、なぜ、どのように、書かれ、読まれ、伝えられてきたのかを問うこと、あるいはそれが葬り去られたり忘れ去られたりした理由を考えることは、歴史をみる一つの有効な視点となりうる。このことに関連する以下の3つの設問に答えよ。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記せ。

問(1) キリスト教の正典の一つである『新約聖書』は、1世紀末から4世紀末にかけての時期に次第に現在の形になったとされる。このことに関連する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えよ。

(a) 1世紀から4世紀末にかけてのローマ帝国におけるキリスト教と政治権力との関係の推移について、4行以内で説明せよ。

(b) 325年、キリスト教の教義形成にとって重要な会議が開催された。この会議について、その名称に触れながら3行以内で説明せよ。

(c) 『新約聖書』などの正典のほかにも、キリスト教の歴史において重要な意味をもった書物は多く挙げられる。そこにはキリスト教成立以前の書物も含まれる。その著作やそれへの注釈が翻訳されることを通じて中世のスコラ学者たちに多大な影響を与えた、「万学の祖」とも呼ばれる古代ギリシアの哲学者の名前を記せ。

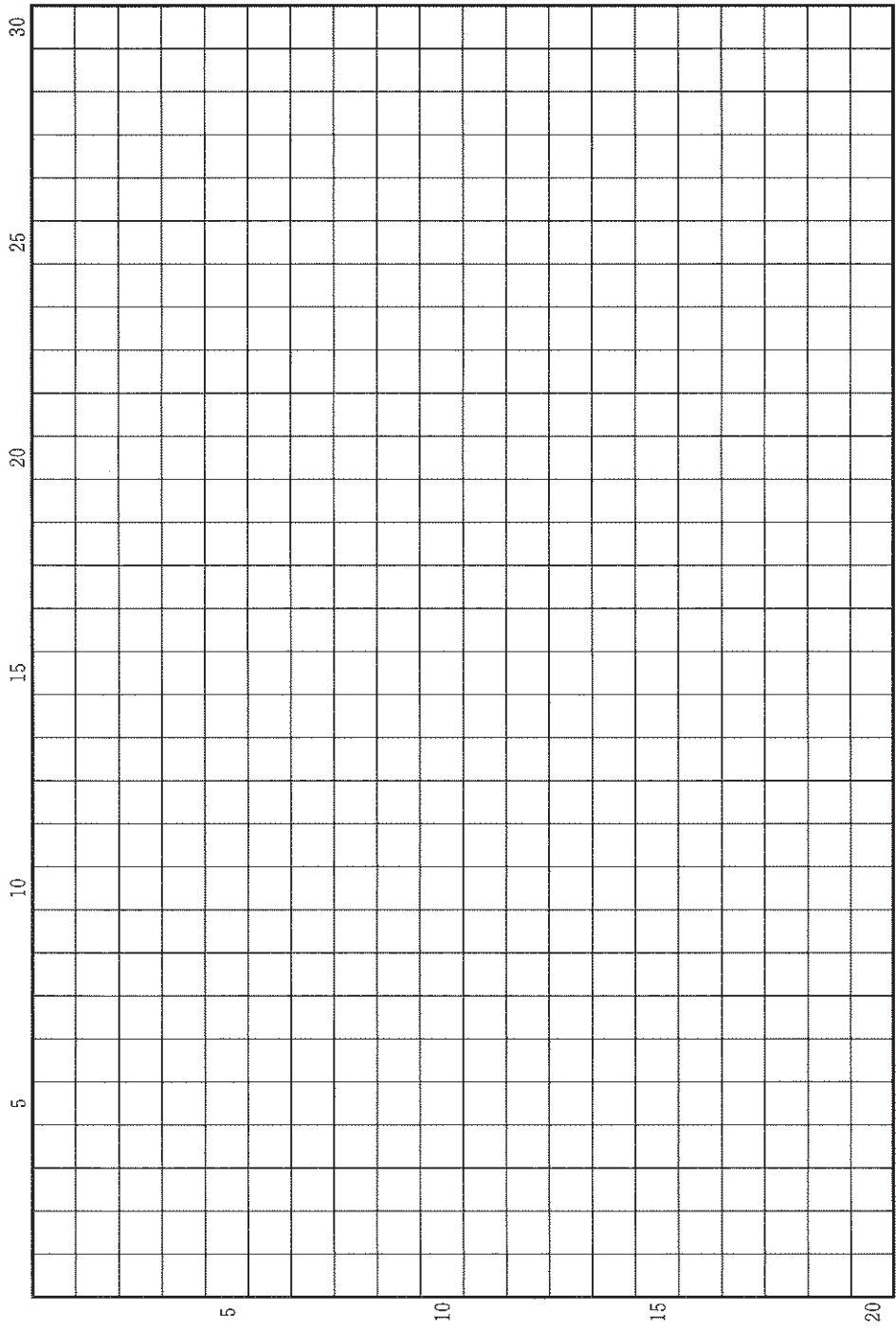
問(2) 史上初のトルコ語・アラビア語辞書とされるカシュガリー著『トルコ諸語集成』は、1077年頃にバグダードで書かれた。この本は20世紀前半にイスタンブル<sup>①</sup>で初めて刊行されたが、その際に使われた写本は、セリム1世の治世以降に彼の征服地からもたらされたものと考えられている。<sup>②</sup>このことに関する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えよ。

- (a) 『トルコ諸語集成』の著者序文には、トルコ人が広く権力を握る執筆当時の様子が記されている。その頃の西アジア一帯はあるトルコ系王朝の支配下にあったが、その王朝の初代スルタンの名前を記せ。
- (b) 下線部①に関連して、13世紀初めにこの地に建てられた国家の成立の経緯を、国家の名称を挙げながら2行以内で記せ。
- (c) 下線部②に関連して、セリム1世治下のオスマン帝国による対外戦争の成果について、2行以内で記せ。

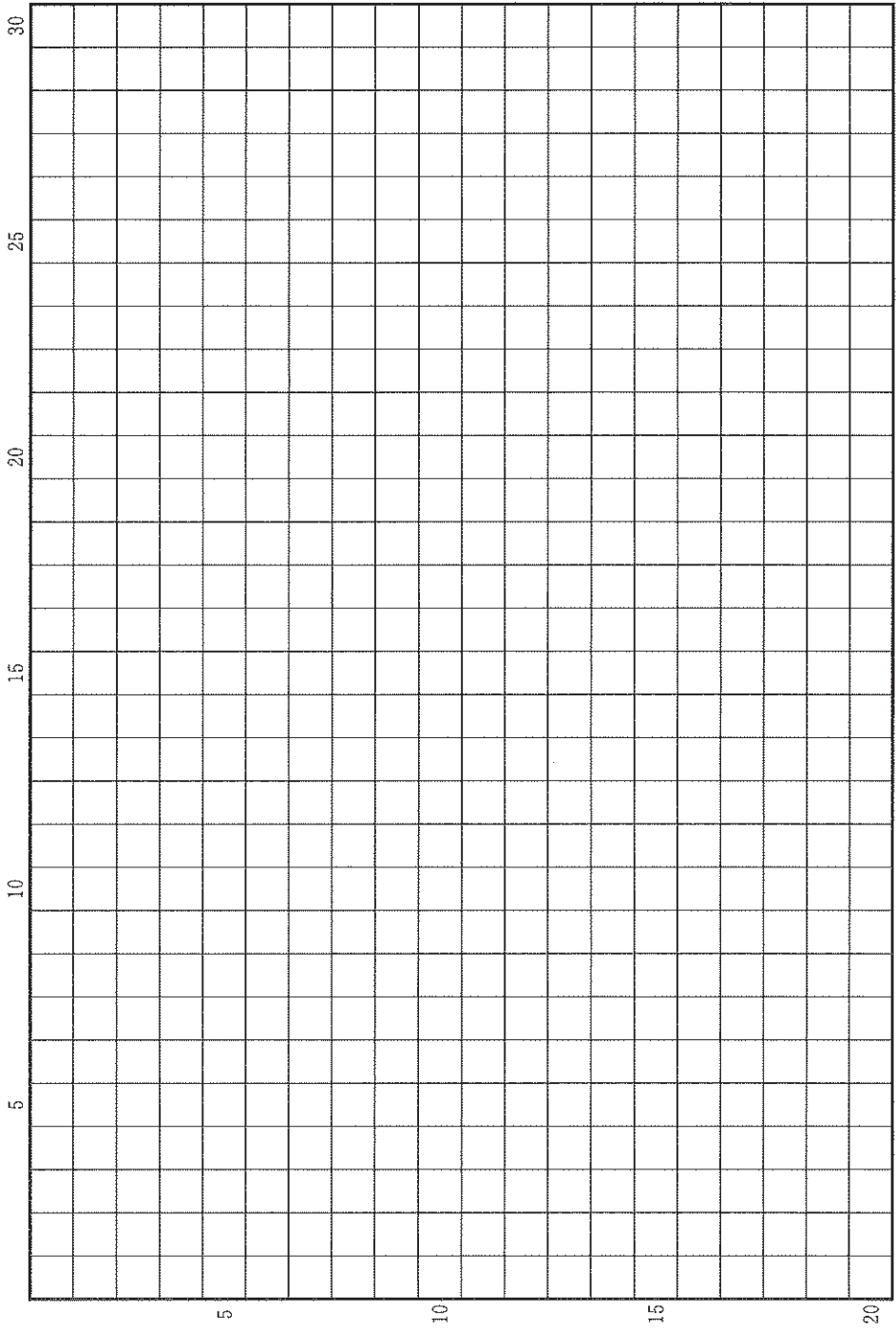
問(3) 17世紀半ばに中国の支配王朝となった清は、従来の制度や慣習を認めつつ、満洲人による支配の徹底をはかった。このことに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えよ。

- (a) 書物に関して、清はどのような政策を展開したか。書物や編纂物の名称を挙げながら、3行以内で説明せよ。
- (b) 清の支配のもとでは、儒学の経典や歴史書を厳密に校訂・検討する学問が発展した。この学問の名称と、清初にこの学問の基礎をつくった学者のうち、1名の名前を記せ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



### 第 3 問

人類の歴史において、軍事的征服や領土の拡大が新しい統治の形態を生み出したり、支配された人々の抵抗運動が当該地域における政治意識を形成したりする現象は、時代や地域を問わず、みることができる。征服と支配、それに対する抵抗などに関する以下の設問(1)~(10)に答えよ。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(10)の番号を付して記せ。

問(1) ローマは第 1 回ポエニ戦争でカルタゴに勝利し、シチリアを獲得した。ローマはこれ以後も征服戦争を進め、地中海周辺地域を中心に多くの地域を支配下においていった。こうしたローマによるイタリア半島以外の支配地は何と呼ばれているかを記せ。

問(2) 衛氏朝鮮を滅ぼした前漢の武帝は、その領域一帯に 4 つの郡を設置した。このうち現在の平壤付近を中心とする地域に設けられた楽浪郡は、中国から派遣された官僚により統治され、400 年あまり存続した。4 世紀初めに楽浪郡を滅ぼした国の名称を記せ。

問(3) 13 世紀初めにハン位についたチンギス = ハンは、モンゴル系・トルコ系の諸部族を統合するとともに周辺の諸地域も次々に征服した。その後もモンゴル帝国の膨張は続いたが、広大な帝国内の交通を円滑にするために整備された駅伝制の名称を記せ。

問(4) モスクワ大公として東北ロシアを統一し、「タターのくびき」と呼ばれたキプチャク = ハン国によるロシア支配を 15 世紀後半に終わらせた人物の名前を記せ。



問(5) 18世紀のアラビア半島において、派はイスラーム教の教えの厳格な解釈を目指す改革運動をおこない、サウード家と協力してイスラーム法に基づく国家建設を主導した。文中の空欄に入る適切な語を記せ。

問(6) イギリスの植民地となったインドでは、西洋的教養を身につけたインド知識人による社会変革の運動が起こった。そのなかには、妻が夫の遺体とともに焼かれて死ぬという慣習の禁止を求める運動もあった。この寡婦殉死の慣習の名称を記せ。

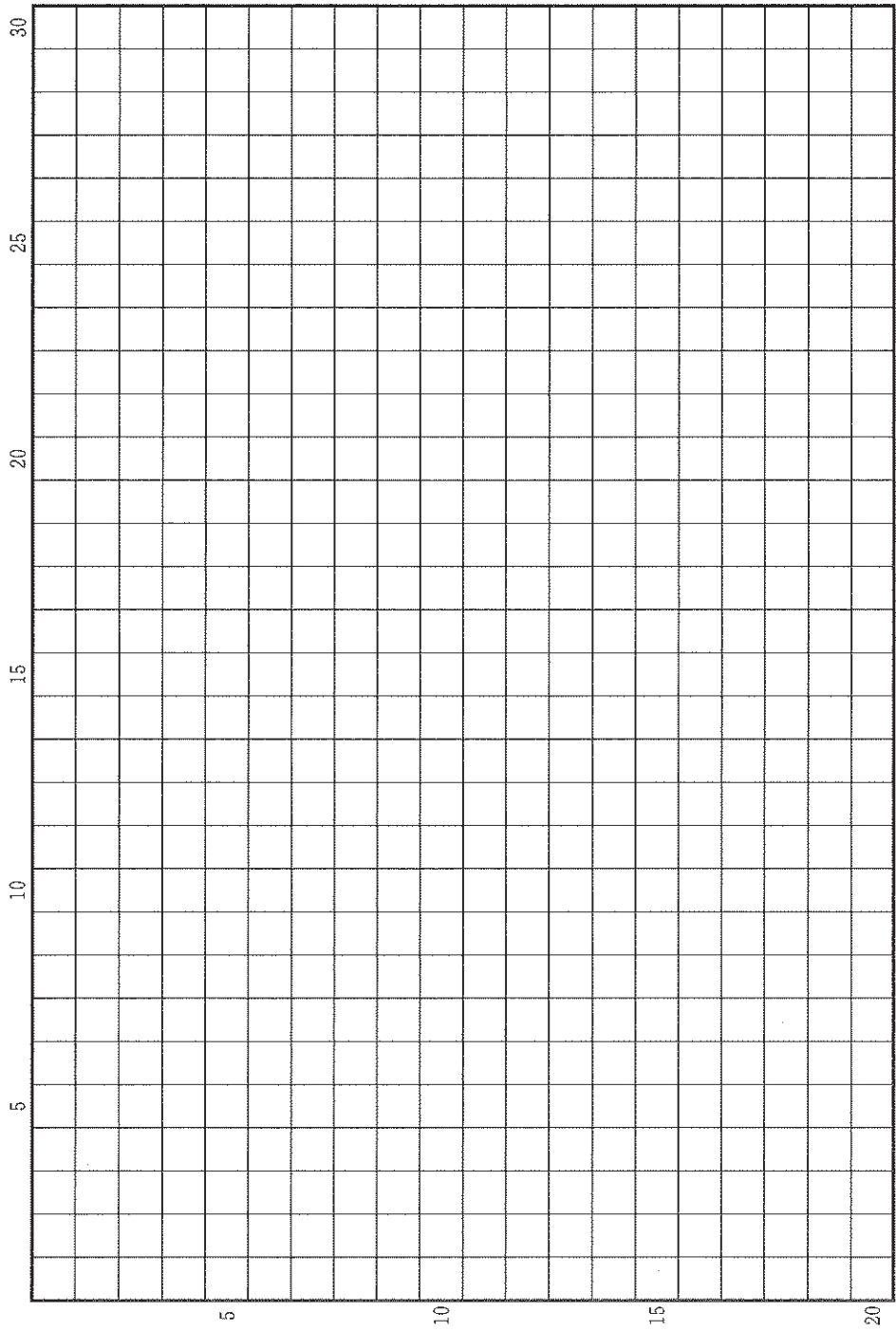
問(7) 19世紀後半、ベトナムでは、フランスが軍事的進出を企て、支配を強めていった。この動きに対して、黒旗軍を組織して抵抗運動をおこなった人物の名前を記せ。

問(8) ヨーロッパ列強がアフリカでの領土獲得競争に本格的に乗り出すなかで、1898年、アフリカを横断して領土拡大をめざしていた国(a)と縦断政策を進めていた国(b)との間で軍事衝突の危機が発生した。この2国の名称を、冒頭に(a)・(b)を付して記せ。

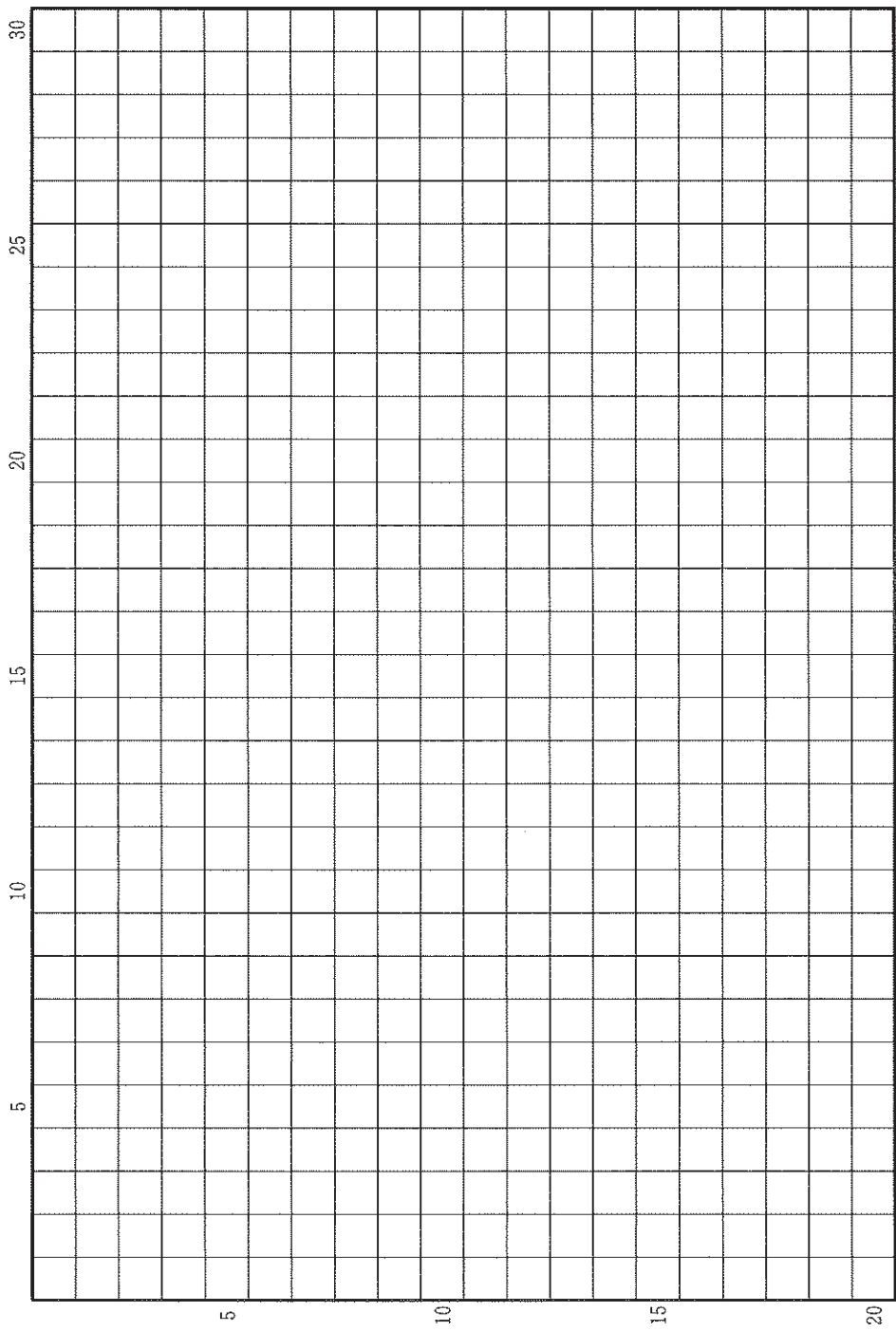
問(9) ディアス大統領による長期にわたる独裁体制がしかれていたメキシコでは、1910年、自由主義者マデロの呼びかけによりメキシコ革命が起こり、ディアス政権は打倒された。この時、北部出身の指導者ピリャとともに農地改革の推進をめざした農民運動指導者の名前を記せ。

問(10) 20世紀後半、非西洋に対する西洋のまなざしを批判的に検討する動きが活発化する。このような潮流のなかで、ポスト=コロニアル研究の代表作の一つである『オリエンタリズム』(1978年)を著し、東洋に対する西洋の見方を批判的に論じた人物もいる。その人物の名前を記せ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



# 地 理

## 第 1 問

世界の食料資源とエネルギー資源に関する以下の設問A～Bに答えよ。解答は、解答用紙の(イ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入せよ。

### 設問A

乳と乳製品は、ヒトが体内で合成できず食品から摂取しなければならないアミノ酸(必須アミノ酸)などの栄養素を豊富に含み、栄養学的なメリットが大きいため、現在世界中で利用されている。ヒトは大人になると乳に含まれる乳糖を分解する酵素が働かなくなり、乳をそのまま飲用すると腹痛や下痢をもよおすため、乳の利用が始まった先史時代においては、乳糖を減らす加工を施していたと考えられている。のちに、大人になっても乳糖を分解でき、乳をそのまま飲用できる(乳糖耐性がある)人が、世界の複数の地域で独立に出現した。乳糖耐性が過去にその地域で獲得されたかどうかは、現在の世界各地の成人における乳糖耐性者の割合に現れている。図1-1は、この推定割合の分布を示している。

一方で、過去だけでなく現在も乳製品を積極的に利用しない地域もある。その背景には、単純に乳糖耐性の有無だけでなく、その他の様々な要因も関わっている。

- (1) 図1-2の円グラフは、1人1日あたり供給されるカロリーの食品内訳を、4つの国について示したものである。A～Dに当てはまる国を以下から選び、A—○○、B—△△のように答えよ。

中 国      ナイジェリア      パキスタン      フィンランド

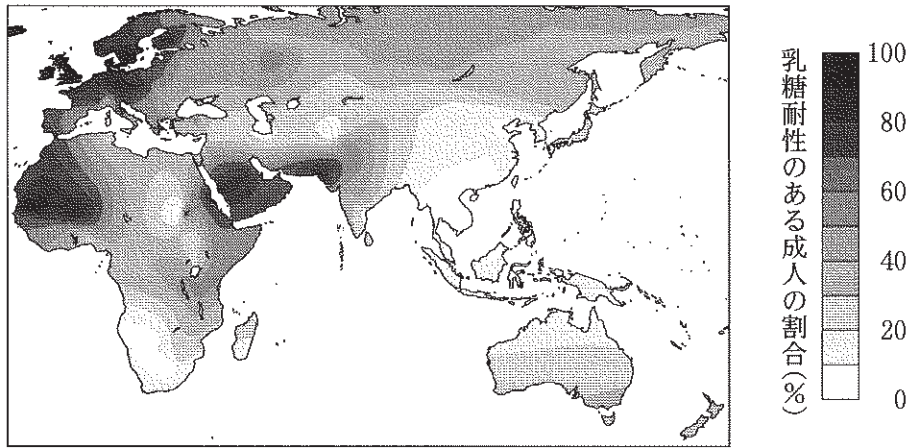


図 1—1

Itan ほか(2010)による。

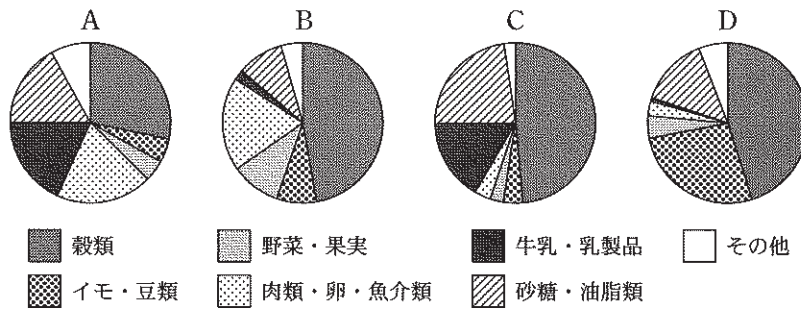


図 1—2

FAOSTAT による。

- (2) 世界の各地で乳糖耐性が獲得された背景は地域によっても異なると考えられる。西アフリカ、アラビア半島から南アジアにかけての地域で乳糖耐性者の割合が高いことについて、共通して考えられる理由を以下の語句をすべて用いて 2 行以内で説明せよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

適 応      気 候      飲 用

(3) 伝統的な遊牧生活を送るモンゴル人においては、乳糖耐性者の割合は高くはないが、夏場は1日の摂取カロリーのうち3分の1以上が乳由来である。モンゴル人は乳にどのような加工を施して乳糖を減らしているのか、2行以内で説明せよ。

(4) 東南アジアでは乳が食料資源として積極的に利用されておらず、乳糖耐性者の割合も非常に低い。この地域で乳と乳製品が利用されてこなかった主な理由を、表1-1を参考にしながら2行以内で説明せよ。

表1-1 主食穀類の栄養成分比較

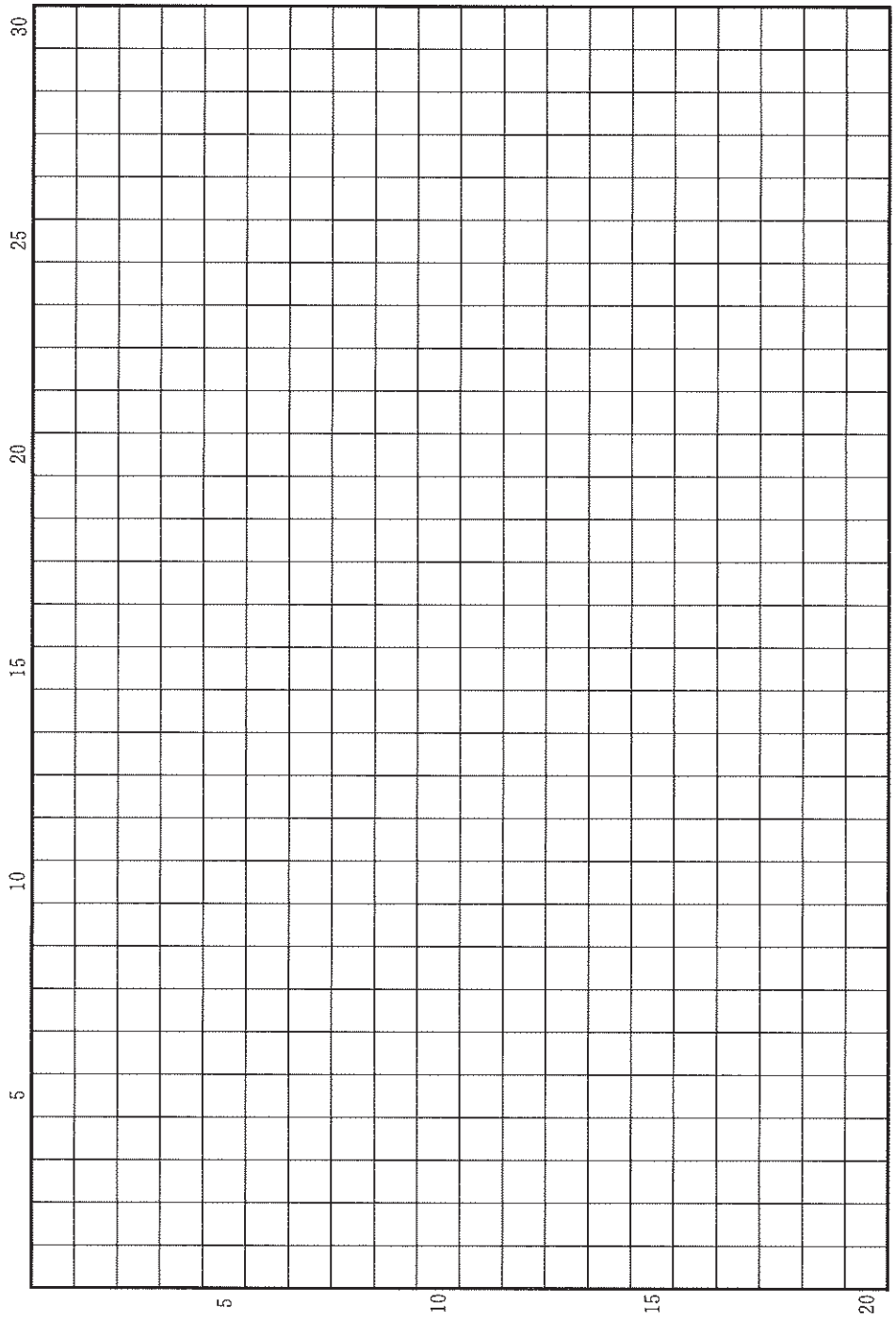
	エネルギー (kcal/100 g)	炭水化物 (g/100 g)	脂 質 (g/100 g)	タンパク質 (g/100 g)	アミノ酸 スコア*
精白米	342	77.6	0.9	6.1	65
小麦粉(薄力粉)	349	75.8	1.5	8.3	44
トウモロコシ (コーングリッツ**)	352	76.4	1.0	8.2	31

\*アミノ酸スコアとは、必須アミノ酸の必要量をどの程度満たしているかを、基準値を100として示した値である。肉・魚・卵・乳製品は、アミノ酸スコアが100である。

\*\*コーングリッツとは、とうもろこし粒を粗砕し、表皮・胚芽を除いた後、粉碎、ふるい分けしたものである。

文部科学省食品栄養データベースによる。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



## 設問B

天然ガスは、石油や石炭よりもクリーンなエネルギー資源として需要が高まっている。世界の7つの地域における天然ガス資源に関わる以下の問いに答えよ。なお、7つの地域は、アジア太平洋、アフリカ、中東、中南米、独立国家共同体、北米、ヨーロッパである。

- (1) 図1—3は、1970年から2021年の天然ガス年間生産量の推移を示した図である。A、B、Cに該当する地域を以下の3つの地域から選んで、A—○〇のように答えよ。なお、独立国家共同体は、ロシアおよびソビエト連邦から独立した共和国からなる国家連合を示す。

独立国家共同体      中 東      北 米

- (2) 図1—3のAの地域では、新しい技術の導入により2010年頃から天然ガスの生産量が急激に増え、この変化は(      )革命と呼ばれている。

括弧内に入る語句を答えよ。

- (3) 図1—4は、世界の7つの地域(ア～キ)における2021年の天然ガスの輸出・輸入量を、パイプラインによる輸送とLNG(液化天然ガス)としての輸送に分けて示したものである。見出し行(横軸)が輸出した地域、見出し列(縦軸)が輸入した地域を示す。輸出と輸入の地域が同じ箇所は、同じ地域内の国家間の輸出入を示す。以下の3つの地域はア～キのどれにあたるか、地域名—○のように答えよ。

アジア太平洋      独立国家共同体      ヨーロッパ

- (4) 図1—3と図1—4を参考に、日本のエネルギー資源確保の観点からみた天然ガスの特徴を石油と比較しながら3行以内で述べよ。



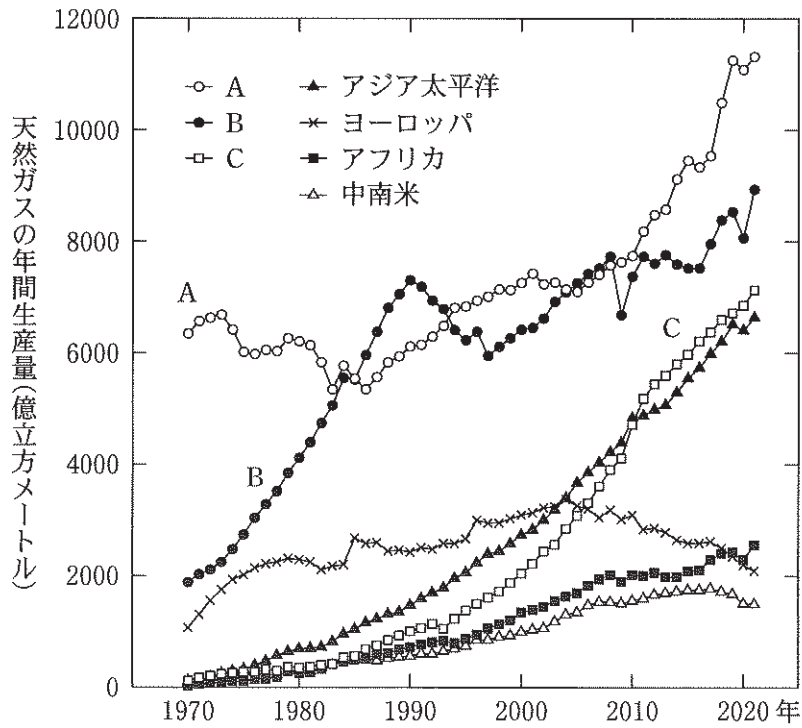
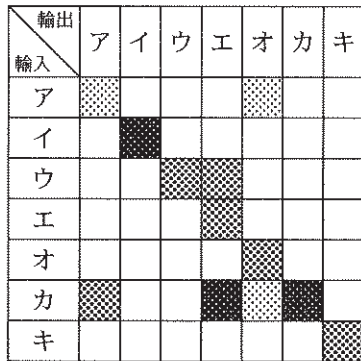


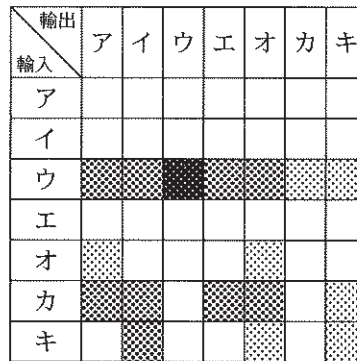
図1-3

BP(英国石油会社)の統計データによる。

パイプラインによる天然ガスの輸出入



LNGの輸出入



輸出入の量  
(億立方メートル)

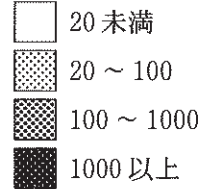


図1-4

輸出入量はいずれも気体状態の体積。BP(英国石油会社)の統計データによる。

## 第 2 問

世界の地勢と人口の変化に関する以下の設問A～Bに答えよ。解答は、解答用紙の(口)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入せよ。

### 設問A

図2—1の左のグラフは、地球の1 km 毎の高度帯に属する土地の面積の比率(%)を示したものである。ここでいう土地は陸上と海底の両方を含み、面積が非常に小さい標高5 km 以上と水深7 km 以深の値は示されていない。図2—1の右のグラフは、左のグラフのようなデータを用いて、ある高度よりも下にあるすべての土地の面積の比率(%)が高度とともに変わる様子を示しており、低所では値が小さく、高所では100%に近づく。このグラフは地球の平均的な断面とみなせる。図2—2は、アジア、アフリカ、オーストラリア、北アメリカ、南アメリカ、ヨーロッパの6つの大陸のそれぞれについて、図2—1の右のグラフと同じ方法で作成したグラフを示したものである。ただし図2—2では、各大陸の周辺の海底は水深200 m までのみを対象としており、高所の面積が非常に小さい部分は示していない。

- (1) 図2—1によると、水深0～3 km の海底の面積は陸地の全面積よりも小さいが、水深3～6 km の範囲の海底の面積は陸地の全面積よりも大きい。後者を含む深海底は、陸地からは離れているものの、将来の世界の経済に大きな影響を与えると考えられている。その理由を2行以内で述べよ。
- (2) 図2—2のア～カのうち、ウは北アメリカ、カはアフリカである。他の4つがどの大陸に対応するかを、ア—〇〇のように答えよ。
- (3) 図2—2のアの大陸は、他の5つの大陸に比べて標高が高い土地の面積が大きい傾向が明瞭である。この原因となっている大地形の特徴を1行で述べよ。

(4) 図2—2のエとオの大陸は、共に標高500 m以下の陸地の面積比率が、他の大陸よりも大きいですが、そこでの土地利用・土地被覆の特徴は2つの大陸で大きく異なっている。どのように異なっているかを、相違が生じた理由とともに2行以内で述べよ。

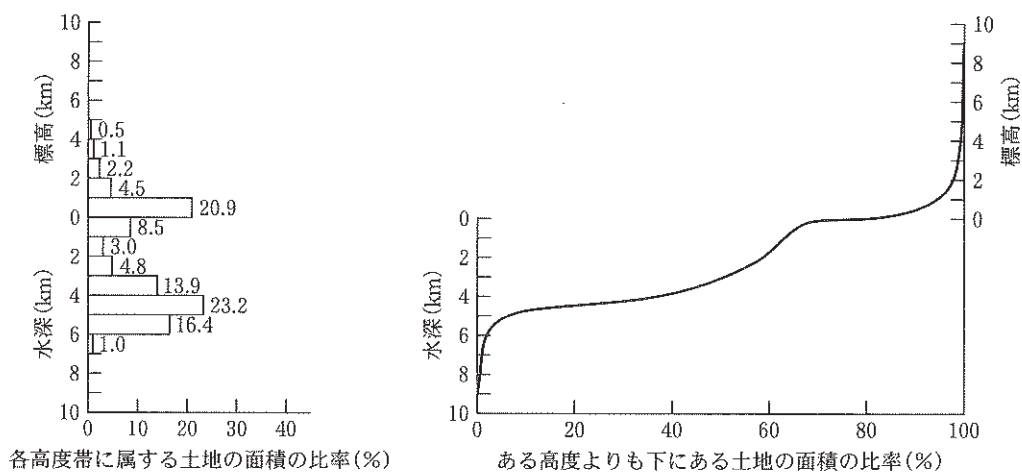


図2—1

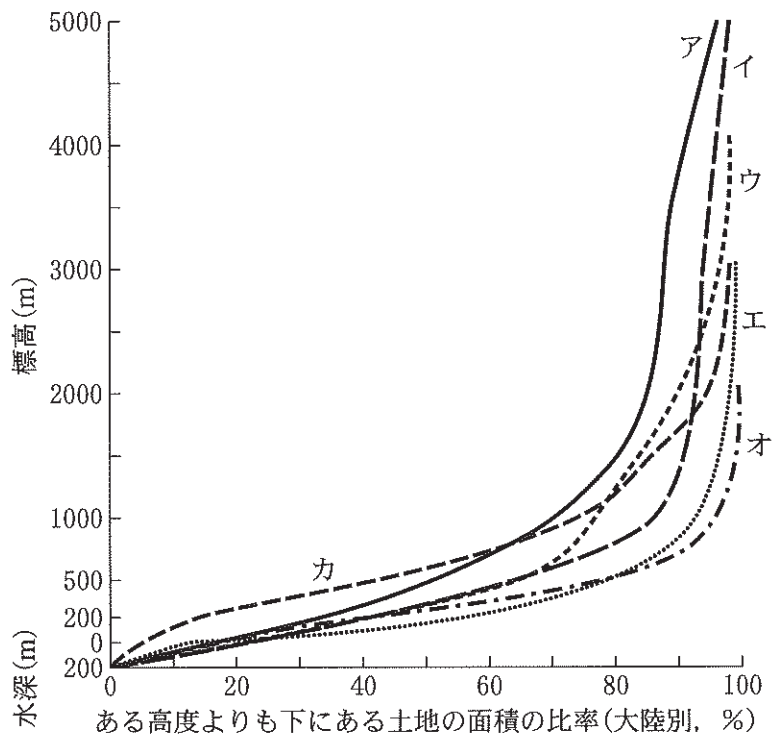
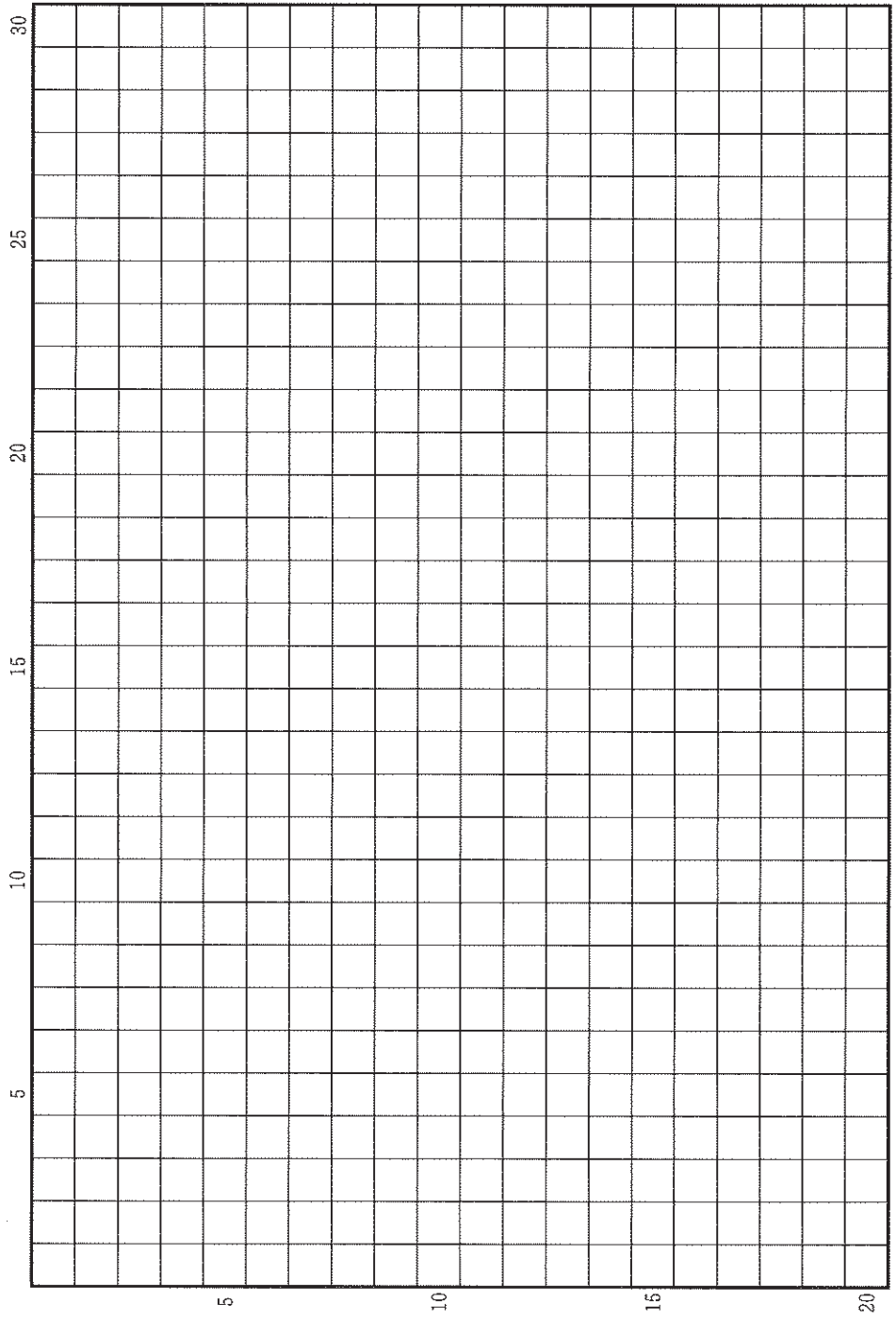


図 2—2

Artyushkov and Hofmann (1998) の図を一部改変。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



## 設問B

表2—1は、2020年時点で人口が1億を超える世界14カ国の2020年の人口規模(A：10億以上、B：2億～3億台、C：1億台の3ランクで表示)と、1960～2020年の20年ごとの人口変化率を示したものである。表では2000～2020年の人口変化率の大きい順に国を並べている。

(1) 2000～2020年の人口変化率の上位3カ国(ア、イ、ウ)は、同じ大陸に位置する。これらの国々が位置する大陸名を答えよ。

(2) 2020年の人口規模がBの国々のうち、イ、ケ、コの3カ国は1960～1980年の人口変化率がいずれも60%台であった。イ国のその後の人口変化率の推移と、人口と経済に関わる社会状況の推移を、ケ国・コ国と比較しながら、以下の語句をすべて用いて3行以内で説明せよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

経済発展      生活水準

(3) 2020年の人口規模がAの2カ国(カ、シ)の、人口変化率の推移にみられる差異とその背景を2行以内で説明せよ。

(4) 1960～1980年の人口変化率が20%台の低水準にあった2カ国(サ、セ)の、その後の人口変化率の推移にみられる差異とその背景を2行以内で説明せよ。

表2—1

国	人口規模	人口変化率(%)		
	2020年	1960-1980年	1980-2000年	2000-2020年
ア	C	—	—	74.8
イ	B	62.4	68.4	69.6
ウ	C	61.8	63.1	50.6
エ	B	75.4	91.5	47.2
オ	C	70.0	61.0	43.9
カ	A	56.3	52.1	31.8
キ	C	66.5	53.9	29.6
ク	C	86.7	44.6	28.7
ケ	B	67.7	44.5	27.0
コ	B	67.3	43.8	21.2
サ	B	26.6	26.6	19.0
シ	A	50.2	28.7	12.7
ス	C	—	—	-0.8
セ	C	24.5	7.8	-1.2

人口規模：A：10億以上，B：2億～3億台，C：1億台。

—：国家の解体・分裂があったため，当該期間の値を提示していない。

国連統計による。

### 第 3 問

都市に関する以下の設問A～Bに答えよ。解答は、解答用紙の(ハ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入せよ。

#### 設問A

次の文は、アメリカ合衆国のある都市に関するものである。

もともとのこの都市を含む地域一帯は、アメリカ合衆国成立期の係争地だった。18世紀半ばに、カナダ東部に入植したアカディアンが追放され離散した際、その一部がここに定住し、異なる文化が融合して独特の料理や音楽などが生まれた地として知られる。

この都市周辺は、メキシコ湾に注ぐ広大な(ア)川が氾濫し、運んできた土砂が堆積して形成された(イ)にあり、周辺より少し高い河畔の(ウ)上に市街地が形成された。そして、(ア)川の河口に位置する地理的特性を活かし、港湾都市として<sup>(A)</sup>発展を遂げた。

20世紀以降は、ポンプ排水技術が進歩し、堤防が築かれたことにより、さらに低地に市域が拡大したが、21世紀に入り、大規模な災害に相次いで見舞われている。そのうち、2005年8月に発生したハリケーンに伴って生じた自然現象<sup>(B)</sup>による被害を検証してみると、特定のエスニック集団が顕著に被災したことがわ<sup>(C)</sup>かった。復興過程でもこの問題が顕在化し、政治問題に発展した。

- (1) この都市の名称を答えよ。
- (2) 上記文中の(ア)の河川名と、(イ)と(ウ)の地形名称を、ア—〇〇のように答えよ。
- (3) 下線部(A)[港湾都市]としてこの都市が栄えた理由を、(ア)川流域の産業との関係から、1行で述べよ。



- (4) 表3—1は、下線部(B)の災害が生じた直後と、その約1週間後の都市域における人口と自宅の浸水状況についてエスニック集団別に示したものである。この表を参照し、なぜ、下線部(C)のような事態が生じたのか、考えられる理由を2行以内で述べよ。

表3—1

	都市域 人口	直後に自宅が浸水し ていた人口	1週間後にも自宅が 浸水していた人口
全人口	988,182	574,798	397,048
白人	500,672	256,123	121,262
黒人	429,902	286,391	257,375
アジア系	25,552	14,578	9,240
ヒスパニック	49,342	28,450	11,830

注：集団内で複数カウントされた者を含むため、各集団の合計が全人口を上回る。

Campanella (2006) の表を一部改変。

- (5) この都市の周辺地域では、近年、(ア)川の水位が大幅に低下する年もある。このことが、この地域の経済活動に与える影響を2行以内で述べよ。

設問B

表3—2と表3—3は、2020年の都市圏人口が500万を超える都市のうち、1945年以前に地下鉄が開業した都市と、1990年以降に開業した都市を、それぞれ開業年順にならべたものである。ただし、表3—3では、この時期に多数の都市で地下鉄が開業した中国については、示していない。

表3—2		表3—3	
開業年	都市	開業年	都市
1863	ロンドン	1993	ロサンゼルス
1900	パリ	1996	アンカラ
1904	ニューヨーク	2000	テヘラン
1907	フィラデルフィア	2002	デリー
1913	ブエノスアイレス	2004	バンコク
1919	マドリード	2011	ベンガルール
1924	バルセロナ	2015	チェンナイ
1927	東京	2016	クアラルンプール
1933	大阪	2019	ジャカルタ
1935	モスクワ	2019	アームダバード
1943	シカゴ	2020	ラホール

注：ここで言う地下鉄は、都市圏の中心都市内部の交通のために建設された鉄道路線網のうち、少なくとも2駅とその間の区間が地下にある路線を含むものを指す。ただし、モノレールと路面電車は除く。

- (1) 表3—2は、地下鉄が開業した時期が、世界ではロンドンがもっとも早く、アジアでは東京と大阪がもっとも早いことを示している。当時の東京や大阪では、どのような都市交通の問題から、地下鉄の建設に踏み切ったと考えられるか、以下の語句をすべて用いて2行以内で説明せよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

路面電車      密 度

- (2) 表3—3の都市のうち、ロサンゼルスだけが欧米の都市である。それ以外の欧米の大都市では、より早い時期に地下鉄が開業している。なぜロサンゼルスで開業が遅かったのか。2行以内で説明せよ。

- (3) 表3—3から分かるように、1990年代以降、アジアの大都市で地下鉄を建設する動きが目立っている。これらの都市で地下鉄を建設する必要性が生じた背景にはどのような都市問題があるか。1行で答えよ。

- (4) 1990年代以降、表3—3に現れるアジアの大都市で地下鉄の建設が可能になった要因には様々なものがある。主な要因を二つとりあげて、合わせて2行以内で説明せよ。